

## 第6学年 算数科

### 1 学年の目標

(1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
(2) 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにする。
(3) 縮図や拡大図、対称な図形について理解し、図形についての理解を深める。
(4) 比や比例について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。また、資料の散らばりを調べ統計的に考察することができるようにする。

### 2 指導の要点

数 と 計 算	分数の乗法・除法	<p>①乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。</p> <p>②分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。</p> <p>③分数の乗法及び除法についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。</p>
	小数・分数の計算	○小数及び分数の計算の能力を定着させ、それらを用いる能力を伸ばすこと。
量 と 測 定	面積	<p>①身の回りにある形について、その概形をとらえ、およその面積などを求めることができるようにすること。</p> <p>②円の面積の求め方を考えること。</p>
	体積	○角柱及び円柱の体積の求め方を考えること。
	速さ	○速さについて理解し、求めること。
	単位の仕組み	○メートル法の単位の仕組みについて理解すること。
図 形	平面図形	<p>①縮図や拡大図について理解すること。</p> <p>②対称な図形について理解すること。</p>
数 量 関 係	比	○比について理解すること。
	伴って変わる二つの量	<p>①比例の関係について理解すること。また、式、表、グラフを用いてその特徴を調べること。</p> <p>②比例の関係を用いて、問題を解決すること。</p> <p>③反比例の関係について知ること。</p>
	数量関係を表す式	○数量を表す言葉や□、△などの代わりに、 $a$ 、 $x$ などの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。
	平均や散らばり	<p>①資料の平均について知ること。</p> <p>②度数分布を表す表やグラフについて知ること。</p>
	起こり得る場合	○具体的な事柄について、起こり得る場合を順序よく整理して調べること。

算数的活動	①分数についての計算の意味や計算の仕方を，言葉，数，式，図，数直線を用いて考え，説明する活動 ②身の回りで使われている量の単位を見付けたり，それがこれまでに学習した単位とどのような関係にあるかを調べたりする活動 ③身の回りから，縮図や拡大図，対称な図形を見付ける活動 ④身の回りから，比例の関係にある二つの数量を見付けたり，比例の関係をj用いて問題を解決したりする活動
-------	---

用語・記号	線対称，点対称，：
-------	-----------

### 3 内容の取扱い

- (1) 「分数の乗法・除法」については，逆数を用いて除法を乗法の計算としてみることや，整数や小数の乗法や除法を分数の場合の計算にまとめることも取り扱うものとする。
- (2) 「面積」の“円の面積”については，円周率は3.14を用いるものとする。

### 4 評価の観点の趣旨

観点	観点の趣旨
算数への関心・意欲・態度	数理的な事象に関心をもつとともに，数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり，論理的に考えたりすることのよさに気づき，進んで生活や学習に活用しようとする。
数学的な考え方	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して，日常の事象について論理的に考え表現したり，そのことを基に発展的，統合的に考えたりするなど，数学的な考え方の基礎を身に付けている。
数量や図形についての技能	分数の計算をしたり，図形の面積や体積を求めたり，図形を構成したり，数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付けている。
数量や図形についての知識・理解	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに，分数の計算の意味，体積の公式，速さの意味，図形の意味及び数量の関係などについて理解している。